

設計の考え方に関する基本的事項について（ 期及び 期に着手する内容について）

A. 場所	No.	B. 整備内容	C. 着手期	D. 前提条件など	E. 関連資料	F. 設計の基本事項	ページ
上池	1	雨水の利用 池近傍に雨水集水路を設置し、導水する。		・既存道路等との取り合い等 ・排水勾配の確保	・現況平面図、現地写真 ・横断面図	・集水路のルート（線形、池への合流地点） ・集水路構造（材質、横断形状）	3-4
	2	上池の掘削 水面及び湿地確保のため、上池の掘削を行う。		・モニタリングを通じた段階的取組み ・希少種の保護 ・ワンド・エコトーンの整備との連携	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位）	・池の掘削範囲（想定する最終形状と優先整備箇所） ・池の底面高さ（想定する水深の考え方） ・河岸部の形状、及び構造（河岸法面勾配、河岸表土、素掘り or 法面保護工 or 魚巢）	3-5
	3	高水時の本川からの導水 本川と上池の本川接続部を掘削し高水時に本川から旧流路への流入頻度を高める。		・排水勾配の確保	・現況平面図、現地写真 ・接続部横断面図（本川、接続水路） ・本川側の確率規模別水位（観測所統計値）	・本川接続水路の底高（流入頻度・・・年に1回、など） ・接続水路構造（材質、横断形状）	3-6
	6	ワンドの造成・エコトーンの創出 水鳥の利用や湿生植物の生育場再生のため、水際を緩傾斜で掘削してエコトーン化する。		・モニタリングを通じた段階的取組み ・希少種の保護 ・上池掘削との連携	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位） ・貴重植物（エキサイゼリ）の生育特性資料	・試験掘削対象場所、及び範囲（サイトの選定、規模、形状） ・エコトーン・湿地（規模、水際部勾配） ・ワンド（規模、形状）	3-7
中池	11	ワンドの造成 水鳥の休息・生息の場となる中ノ島を残し、ワンドの掘削を行う。		・用地取得計画との整合	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位） ・水鳥の利用状況	・ワンド（規模、形状） ・中ノ島（規模、形状、必要な機能）	3-8
	12	河畔林の保全 現存する河畔林生育地周辺を公有化し、適切な保全を行う。	-	・用地取得計画との整合	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位）	・河畔林保全地（規模、形状）	
下池	18	（下池下流部の高上げ） （新提案） （下池下流部の水路床を嵩上げし、水位の上昇を図る）	(-)	（モニタリングを通じた段階的取組み）	（現況平面図、水路縦断面図、横断面図）	（嵩上げ高さ、せきあげ地点）	3-9
	19	ワンドの造成 ワンド周辺にハンノキ発芽適地を確保するための水路網などの整備を行う。		・用地取得計画との整合	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位） ・ハンノキの生育特性	・ワンド（規模、形状）	3-10
	20	ハンノキ林の保全・再生 現存するハンノキ林を含む周辺地区を公有化し、適切な保全・管理を行う		・用地取得計画との整合	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位） ・ハンノキの生育特性	・水路網ルート、規模	3-11
	21	ハンノキ発芽適地の創出検討 人為的に発芽、生育に適する湿性地进行を新たに創出する。		・用地取得計画との整合	・現況平面図、現地写真 ・横断面図（水位、地質分布、地下水位） ・ハンノキの生育特性	・ハンノキ発芽適地（規模、敷高、水路網ルート）	3-12

